

韓国語や文化学ぶ

室蘭海星学院高で講座

室蘭・海星学院高校(香川謙二校長、236人)の夏休みを利用した韓国語講座が27、28の両日、同校であつたり、豪華客船入港時

に通訳ボランティアをしている生徒ら12人が、室蘭工業大学の韓国語留学生から、言葉や文化、習慣を学んだ。

講師は日本語が堪能な李



室工大の韓国語留学生のセロンさん(中央)から韓国語を学ぶ生徒たち

セロンさん。和やかな雰囲気の中、母音と子音を組み合わせたハングル文字の構成、自

己紹介の仕方、「これは○○です」「値段はいくらですか」の言い方、曜日、数字、時間、童謡などを分かりやすく説明した。

「会ったときも帰るときも、あいさつは『안녕하세요』と言います。『하세요』は敬語に当たるので、友達同士の場合は『안녕』でいいです」と話し「あいさつと合わせて、相手を思いやる気持ちで『ごはん食べた?』とよく言います」と伝えていた。

2年生の福田愛さんは、韓国のアイドルグループのファンで、中学1年から独学で韓国語を学んでおり「普段韓国の人と接する機会がないので、発音などを学べて良かった。スムーズに会話できるようになりたい」と笑顔を浮かべていた。

(成田真梨子)